

# ◇ 令和6年度 指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「常盤」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	18,393,829円		19,970,431円	コロナの補助も加味しつつ、効果的な予算執行が行われた。	運営や事業の実施をより良い、質の高いものへとしていきます。
施設HPアドレス	<a href="http://minnanoie.roukyou.gr.jp">http://minnanoie.roukyou.gr.jp</a>		2年目	18,489,946円		21,518,050円	特に人件費で予算をオーバー(116万)し赤字になってしまった。	コロナ禍での安心安全で健全な保育。
指定管理者名	労働者協同組合労協センター事業団		3年目	19,604,791円		23,994,523円	指定管理料内で保育に係る費用、施設の維持管理、人件費など適切な予算執行が行えた。(差額はおやつ代より)	運営や事業の実施をより良い、質の高いものへとしていきます。コロナ禍で希薄になっていた地域との繋がりを深めていきます。
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日		4年目	25,807,884円		29,233,425円	3支援単位人件費予算の中、出席児童数に合わせ2支援単位の支援員体制が多く人件費が予算より下回った。	運営や事業の実施をより良い質の高いものへとしていきます。コロナ終息に伴い地域との交流、繋がりを深め、子どもも大人も楽しい保育をします。
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		5年目	25,884,018円		29,371,853円	予算よりも人件費が超えてしまったものの、全体的には適切な予算執行を行えた。	運営や事業の実施や地域とのつながりをより良い質の高いものへとしていきます。

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成21年4月1日
施設の供用開始日	平成10年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

## ◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和6年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
◎子どもを真ん中に据えたまちづくりを目指し、保護者や地域との協同を進める◎子どもの主体性を育み自主的な活動を行える環境づくりを進める。◎小学校内にある強みを活かして学校との情報共有、連携をはかり、共に子どもの成長を見守り保護者も子どもも安心できるクラブ運営を行う。◎適切な事業収支を目指す。		概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
◎虫の観察会、料理教室、アオバナのしおりづくり。喫茶・バザーやぜんざいのふるまい、紙芝居では児童・保護者・地域・学校の先生などたくさんの方々の交流を図ることができた◎春祭り、お花け屋敷等子どもたち主体のイベントを企画開催できた◎小学校の児童主任の先生と毎月1回定期的に情報共有の場を設け、学校と共に保護者や子どもの状況を共有・把握し対応することができた。◎安全計画を作成し、定期的な避難訓練や支援員訓練を年間通して行った。市や県の研修等に積極的に参加し保育の質を高めるとともに次年度も積極的に研修に参加したい。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)			
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
	上半期評価	基準に沿った職員配置を行い、安心安全な保育に努めた。支援員の資質向上を目指し研修等にも参加し同指定管理者内で応援などの協力体制もとれていた。現場会議などで共有も行った。入所状況も適切だった。	上半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	基準に沿った職員配置を行い、安心安全な保育に努めた。支援員の資質向上を目指し研修等にも参加し同指定管理者内で応援などの協力体制もとれていた。現場会議などで共有も行った。入所状況も適切だった。	下半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)			
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
	上半期評価	外出や外部の方に来ていただく行事を行った。各部屋ごとの学習環境を整えるように努めた。計画・準備・実行を子どもに任せる、子ども主体の行事を行った。子どもたちの意欲・興味関心になるべく応えられられるように努めた。発達支援センターの方に来ていただき支援の質を高めた。個人情報の取り扱い書類等は鍵付き書庫に保管。	上半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	保護者・学校・地域との交流を図れる行事を取り入れた。計画・準備・実行を子どもたちに任せる行事を取り入れた。次年度に向けて保育環境を整えた。個人情報の取り扱い書類などは鍵付き書庫に保管。	下半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)			
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
	上半期評価	毎月お便りの配布(保護者、民生委員)で子どもの様子、学童の運営について、各連絡事項などお知らせ。また送迎時に保護者とコミュニケーションを図り、子供の保育について共有をはかる。必要に応じて個別懇談を実施。	上半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	毎月お便りの配布(保護者、民生委員)で子どもの様子、学童の運営について各連絡事項などお知らせ。また、送迎時に保護者とコミュニケーションをはかり、子供の保育に行いて共有をはかる。10月に保護者アンケートを実施しより良い運営に繋げる。2月には希望者を募り個別懇談を実施。	下半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)			
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
	上半期評価	日常点検、法定点検を行い、学校依頼による施設点検を月1回行った。毎日の清掃に加え、引き続き感染症防止の為の対応(手指消毒や除菌シートでの清掃)。児童の避難訓練実施。警察署の方に来ていただいて防犯訓練実施。(支援員のみと、児童含んで)	上半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	日常点検、法定点検を行い、学校依頼による施設点検を月1回行った。毎日の清掃に加え、引き続き感染症防止の為の対応(手指消毒や除菌シートでの清掃)。児童の避難訓練実施。支援員のみでも避難指示訓練実施。	下半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆